

倒れる2本のオベリスク

平和統一 NEWS No. 89 (2016/2月号)

渡辺 久義

不思議な夢というものを私はごくまれに見ることがある。40年ほど前の夢で、今でもありありと覚えており、明らかに何らかの意味がありそうだが、何かわからないまま今日までできた。私は予知夢などというものを見たことが全くないので、これがそうだとは言わないが、ごく最近、ひょっとしたらこれだったのか、と思えてきたことがある。私はその当時、今のよう知識も興味もなかったもので、意識の上で現在につながることはない。

夢自体は単純で、私は京都あたりの大きなお寺の裏の墓地を歩いていた。かなり広く、日が当たっていて気持ちよかった。ごく普通の墓標がほどよい間隔で並ぶ中に、ひときわ背の高い、墓石の数倍か十倍もありそうなオベリスクが、2本並んで立っていた。オベリスクとは、古代エジプトに発すると言われ、わずかに先細りの、石造の四角柱で、天辺がピラミッド型になった記念碑のことである。このオベリスクが——ここが目に焼き付いている光景なのだが——立ったまま並んで、同時に横へ動き出し、土を掘りながら進むので、土がむくむくと盛り上がった。しかし長くは続かず2メートルくらいで一緒に倒れ始め、私は大慌てでお寺の軒下へ逃げた。そこで夢は終わった。

オベリスクなどというものを、私は平生思いもよらず、しかも倒れ方が尋常でない。この夢があまり不思議なので、何人かの友人に話した。あるときは、ちょうど東西ドイツのベルリンの壁が崩れた時期だったので、それはソ連の崩壊を意味するのではないかと、といった人がある。だとしたら、もう一つは何だろうと私が言うと、彼はマルクス主義ではないかと言った。それでは似たようなものではないかと二人で笑った。ことほどさように謎は解けなかった。

私は、アメリカのワシントン DC のワシントン記念塔が、オベリスクだということは知っていた。イルミナティというものの秘密性が急速度で暴かれていくにつれて、アメリカのワシントン DC の都市計画がイルミナティによるもので、この記念塔も彼らの **New World Order** のシンボルであることは知っていた。これは彼らにとって、ピラミッドと同じ異教の神（反キリスト）を象徴するものらしい。これは欧米のほとんどの主要都市に存在するようである。しかし、私の夢で、もしこれが倒れたのだとしたら、もう一つはどれだろうか？（もちろん

私の夢を解いてくださいと言っているのではない。真剣に考えていただきたいのは、私の指摘する次の事実である。）

私は今、隠されていたものが次々と暴かれていく中で、最も重要で貴重なものは、ますます増えていくイルミナティ離脱者による証言だと思う。このところ私たちのブログ（創造デザイン学会）の翻訳記事は、もっぱらそれに当てられているので是非ご覧いただきたい。これらは彼らの内部告発というより、想像を絶する悪と残酷の世界からの悲痛な SOS である。我々はこういう世界があることを知らなかった。少なくとも内部者の口から聞いたことはなかった。彼らは我々の敵ではある。彼らはこの地球を完全に支配して、我々の人口を 5 億に減らし奴隷化しようとしている。にもかかわらず、あるいはむしろ、だからこそ、我々は協力して彼らを救わなければならない。彼らの内部からの情報提供によって、我々はようやく事情が分かってきた。魂を悪魔に売らなければ生きていけない人たちがいるのである。これは彼らの神であるルシファーとの契約である。

まず我々は現実を知らなければならない。彼らは世界的に影響力をもつほとんどあらゆる機関を支配している。例えば、我々の読む新聞記事は、すべて彼らによって操作されている（“ポリティカリー・インコレクト” というのは「イルミナティの気に入らぬ」という意味である）。NWO の実現の妨げになる情報はすべて排除される。我々は離脱者たちの証言によって、我々自身が、実はどういう存在であるかをも知ることになった。彼らを鏡として初めて自分がわかる。その知識の上に立って、はじめて我々は彼らと有益な戦いをすることができる。人類の進歩のための戦いをすることができる。それは自分との戦い、自分を乗り越える戦いである。それは霊的レベルの戦いであって、殺しや復讐の戦いではない。

離脱者の中でも、特別に聡明な女性スヴァーリの証言によって、我々大多数が認めたがらない——実は認めないように操作されている——悪魔の实在とヴァチカンの正体を知った。これについては「スヴァーリとの独占インタビュー（4）：ヴァチカンにおける子供の生贄」を読みたい。解説にも書いたが、この中でぎょっとするのは、この凍り付くような生贄の儀式が終わった後で、参加者が **New World Order** に対する終生の忠誠を誓わせられるところである。このフレーズは、父ブッシュ大統領が、1991 年初めて米下院で口にし、続いて数人の政治家がこの言葉を用いた。これは、イルミナティを通じて、米政府とヴァチカンが一体化していることを示すだろう。——私はこれを読んだとき、ヴァチカン聖堂のサン・ピエトロ広場の真ん中に、もう一本のオベリスクが立っていたことを思い出した。